



富山水辺の映像祭 スフィア 2014

2014.11/8(土)~9(日) フォルツァ総曲輪

場所：フォルツァ総曲輪シネマホール

11/8(土)

13:00 ~ 富山水辺の映像祭スフィア2014
公募映像作品授賞式

14:30 ~ バトルーキング@TOYAMA
「～日韓映画の未来～」

ヤン・イクチュン監督作品「しば田とながお」を上映します。

17:00 ~ K-movie-Jフェスタ@TOYAMA
日韓映画を無料で上映します。

11/9(日)

10:00 ~ 富山水辺の映像祭スフィア2014
優秀作品上映

11:00 ~ 文化庁メディア芸術祭映像作品上映

12:30 ~ K-movie-Jフェスタ@TOYAMA
日韓映画を無料で上映します。

【出演者】※敬称略

バトルーキング@TOYAMA「～日韓映画の未来～」

伊東 順二(富山水辺の映像祭総合プロデューサー)

イ・セヨン(女優)

内田 もも香(女優)

本木 克英(映画監督)

森 雅志(富山市長)

ヤン・イクチュン(映画監督)

【富山水辺の映像祭スフィア2014公募映像作品審査員】※敬称略

伊東 順二(富山水辺の映像祭総合プロデューサー)

石井 岳龍(神戸芸術工科大学大学院教授)

岡本 美津子(東京藝術大学大学院教授)

本木 克英(映画監督)

ヤン・イクチュン(映画監督)

※イベントはすべて入場無料です。

※内容が一部変更になる場合があります。

<http://www.thinktoyama.jp/>

主催：富山水辺の映像祭運営コンソーシアム

総合プロデューサー：伊東順二

アドバイザー：西島治樹(富山大学講師)

協賛：アシアナ航空株式会社富山支店／株式会社富山環境整備

正栄産業株式会社／株式会社新日本コンサルタント

有限会社シーズプランニング



お問い合わせ

富山水辺の映像祭運営事務局
(富山市 中心市街地活性化推進課内)
〒930-8510 富山市新桜町7番38号

TEL: 076-443-2054

FAX: 076-443-2190

E-Mail: toyamamizube@thinktoyama.jp

富山水辺の映像祭 スフィア 2014

ホーム

いつかしら帰ることができる家、ふるさとの街、やさしく心を包む家族や友。しかし、人類の質的成長を通り過ぎた文明はそのような心暖まるホームから私たちを遠く引き離しつつある。巨大化する社会と際限なく拡張する権利や膨大な競争のエネルギーは大気圏をすら過熱させ、温暖化の波は愛する風景さえ奪ってしまう。

50年代、M. マクルーハンにはメディアはメッセージである、と唱えて映像ネットワークの時代を準備した。思えば、それは品質を問わない情報の氾濫の予告だったのかも知れない。

そろそろ人間に帰っても良いのではないだろうか。地球に、自然に帰ろう。見掛け倒しのつながりを捨てて、町の中で、日々の営みの中で温かく穏やかな心を結ぼう。

今年の富山水辺の映像祭スフィアはそのような作品を求めています。

富山水辺の映像祭総合プロデューサー
伊東 順二

出演者 CAST



ヤン・イクチュン (映画監督)

1975年、韓国生まれ。作品評価の高い多数の短編映画の主演を務め、韓国インディーズ界で信頼される存在となる。05年に初監督を務めた短編映画でソウル・インディペンデント映画祭の観客賞を受賞。自身の家を売り払ってまで制作した「息もできない」は、世界各国で40以上の映画賞を受賞。日本でもキネマ旬報の外国映画賞をはじめ毎日映画コンクールの外国映画ベストワン賞などで高く評価され、ヒットを記録。ヤン・ヨンヒ監督の日本映画「かぞくのくに」では重要な役どころで出演し話題を集めた。2013年公開の宮藤官九郎監督の日本映画「中学生円山」にも出演するなど、監督・脚本、俳優とマルチに活動を行っている。



イ・セヨン (女優)

1992年、韓国生まれ。端正な顔立ちと、演技力、可愛らしさで5歳でデビュー。「宮廷女官チャンムの誓い」では、クミョン役の幼少期を演じ、世界の舞台に存在感を知らしめ、映画「女先生 VS 女弟子」や「9歳の人生」など、様々な映画やドラマなどで主役を務めてきた。2005年KBS演技大賞女性青少年演技賞など多数の賞の受賞履歴を持ち、22歳の若さにも関わらず、18年の確かなフィルムグラフィーを築いている。



内田もも香 (女優)

1985年、富山県生まれ。2001年に宝塚音楽学校入学。卒業後、宙組入団。数々の舞台出演後、2006年退団。以後「水戸黄門」にて映像デビュー。金曜プレステージ「所轄刑事」、水曜ミステリー9「鉄道警察官・清村公三郎」などレギュラー出演し、現在も多数テレビドラマなどに出演中。富山では、FMラジオ「もも cafe」にてDJ出演。BBTの報道番組「ぶらっ歩」でレギュラー出演。同じく、ファッション番組「チャージメント」レギュラー出演。北日本新聞「女子ミーツ」レギュラー掲載。テレビCM「北日本新聞」「ますの寿司本舗源」などにも出演。その他講演やイベントのMCなど多数手がける。朝日町にてカフェを営業。



本木克英 (映画監督)

1963年、富山県生まれ。早稲田大学政経学部卒業後、1987年松竹に助監督として入社。木下恵介、勅使河原宏など多くの巨匠監督に師事した後、1年の米国ハリウッド留学、プロデューサーを経て、1998年「てなもんや商社」で監督デビュー。2009年「鴨川ホルモー」が第1回沖縄国際映画祭コンペ部門のグランプリ「ゴールデンサーフ賞」を受賞。2012年3月「おかしり、はやぶさ」、2013年11月「すべては君に逢えたから」を公開。2014年6月には江戸時代の参勤交代を題材にした「超高速!参勤交代」が時代劇映画では異例の大ヒット作に。松竹の劇場映画・テレビドラマ等を支える舞台骨として活躍中。



伊東順二 (富山水辺の映像祭総合プロデューサー)

1953年、長崎県生まれ。東京藝術大学特任教授。展覧会企画、アート、音楽、建築、都市計画など分野を超えたプロデュースを多数手がける。'95年「ベニス・ビエンナーレ」日本館コミッション、'00年～'01年「文化庁メディア芸術祭企画展」プロデューサー。'08年～'12年「金屋町楽市 in さまのこ」実行委員長。前長崎県美術館館長、前富山大学教授。

バトルキング中に上映します！



『しば田とながお』(18分) 2012年/ヤン・イクチュン監督作品

傷ついた過去と心を抱える女、しば田(柴田千紘)。そんな彼女の胸中を理解しようと、近づきたくてもなく、後をつけ回すわけでもなく、付かず離れずの微妙な距離を取りながら見守る男・ながお(長尾卓磨)。触めたい、慰められたい、理解したい、理解されたいという気持ちを交錯させながら、彼らは東京の公園を歩いていく。

K-movie-Jフェスタ@TOYAMA (無料上映)

『かぞくのくに』 2012年/ヤン・ヨンヒ監督作品 (100分) 出演:安藤クラ、井浦新、ヤン・イクチュン



©2011「かぞくのくに」製作委員会

25年が経過して、兄ソンホがあつた国から帰ってきた。妹リエが心待ちにしていたソンホの帰国。彼は70年代に帰国事業で北朝鮮に移住した。病気の治療のために3か月間だけ許された帰国だった。25年ぶりの家族団欒は微妙な空気に包まれる。一方、かつて同じ場所で学び青春を謳歌した、ソンホ16歳時の仲間たちも彼を待っていた。奇跡的な再会を喜ぶ一方、ソンホの治療のための検査が行われる。しかし、担当医には3か月では責任を持って治療できないと言われてしまう。父は滞在延長を申請しようとし、リエは違う医者を見つけようと頑張る。そんな矢先、本国からソンホに「明日、帰国するように」との電話が来るのであった…。

『イノセント・ガーデン』 2013年/パク・チャヌク監督作品 (99分) 出演:ミア・ワシコウスカ、ニコール・キッドマン、マシュー・グッド



©2012 Twentieth Century Fox

鋭すぎる感覚を持つ少女インディア。彼女が18歳を迎えたとき、最愛の父が急死する。葬儀の日、行方不明だった叔父チャーリーが突然現れ、しばらくインディアと不仲の母エヴィが暮らす家に泊まることに。その日から始まる、幾つもの不可思議な出来事と、周囲の人々の失踪。インディアは一連の事件の犯人はチャーリーではないかと疑いながらも、彼に惹かれていく。そんな中、おぞましい殺人事件に遭遇して…。

『ハナ〜奇跡の46日間〜』 2012年/ムン・ヒョンソク監督作品 (127分) 出演:ハ・ジウオン、ペドゥナ



©2012 CJ E&M CORPORATION

かつて韓国で空前の卓球ブームを巻き起こしたスター選手、ヒョン・ジョンファ(ハ・ジウオン)。しかし中国の壁にぶつかり、惜しくも銀メダル止まりに終わっていた彼女に、千葉で行われる世界卓球選手権大会を控え、南北統一チームが結成されるという知らせが舞い込む。周りの猛反対にもかかわらず、彼女は初の南北統一チームに参加を決意。南北の選手たちは、練習方法、ライフスタイル、価値観まであまりにも違い、事ある毎にぶつかり、チームを代表する実力者、ジョンファと北のリブニ(ペドゥナ)の神経戦も日増しに深刻になるのだが…。

『オールド・ボーイ』 2003年/パク・チャヌク監督作品 (120分) 出演:チェ・ミンシク、ユ・ジテ、カン・ヘジョン



©2003 SHOW EAST

ごく平凡な人生を送っていたオ・デス(チェ・ミンシク)はある日突然拉致され、気がつく小さな監禁部屋にいた。理由も分からぬまま15年監禁され続け、突如解放される。復讐を誓うデスの元に現れた謎の男(ユ・ジテ)は、5日間で監禁の理由を解き明かせと命じるが…。

上映映画キュレーター



玄里 (女優)

1986年12月18日、東京都生まれ。日・英・韓のトライリンガル。ウォン・ビン、カン・ドンウォンらを輩出したShinYong Wook演技学校で学び、映画・CF・雑誌に出演。2009年に帰国し、日本で本格的に女優業を始める。映画:2014年公開作「水の声を聞く」主演(山本政志監督)、「ジャッジ!!」(永井聡監督)、「イン・ザ・ヒーロー」(武正晴監督)、「STREET FIGHTER ASASSINS FIST」(Joey Anshah監督)。2015年公開予定作、「駆け込み女と駆け出し男」(原田真人監督)、「ホテルコバ」(門馬直人監督)その他、ドラマ:「八重の桜」(NHK)、「フリーター、家を買う」(CX)。ほか舞台など多数出演。

上映時間

11/	かぞくのくに	17:00 ~
	イノセント・ガーデン	19:00 ~
11/	ハナ〜奇跡の46日間〜	12:30 ~
	オールド・ボーイ	15:00 ~
	かぞくのくに	17:30 ~
	イノセント・ガーデン	19:30 ~

主催: 富山水辺の映像祭運営コンソーシアム
総合プロデューサー: 伊東順二
アドバイザー: 西島治樹(富山大学講師)

【お問い合わせ】

富山水辺の映像祭運営事務局 (富山市 中心市街地活性化推進課内)
〒930-8510 富山市新桜町7番38号
TEL : 076-443-2054 FAX : 076-443-2190
E-Mail : toyamamizube@thinktoyama.jp